

ウィークリーSP活動のようす～10月～

10月も各小中学校で多くのSPさんが活動しています。2学期は学校行事も多い上に、勉強も難しくなってきます。加えて、子どもたちも新しいクラス・先生に“慣れ”てくる時期です。みなさんが担任を持った時、そんな時期をどう乗り越えていきますか……？SPさんはいろいろなクラス・学年に入る機会がたくさんあると思います。それぞれのクラスの様子、先生方の指導を見られることはSP活動の一番の醍醐味です。現場で感じるみなさんの「あれ？」という感覚を大切に、活動を充実させてもらえたらと思います。何人か、活動の様子を見させていただいたので、通信を通して共有したいと思います。



←森岡小 榊原 SP

10月から活動をスタートした4年生のSPさん。SP活動2回目の時に様子を見させてもらいましたが、「本当に2回目？」と思うほど、授業中気になる子どもたちにそっと近づいて支援していました。センス抜群です。「4月からの教員生活に向けて、少しでもステップアップしたい。現場のいろいろなことを知りたい。」との想いで来てくれました。とても頼もしいSPさんです。

片葩小 山内(文)SP→

山内(文)SPも10月から活動を始めました。まだ少し緊張気味？でしたが、目の前の子どもがなんとか「分かる」「できる」ように支援してくれていました。頭の中はきっとフル回転。いろんな事を考えて動いていると思います。一瞬で判断して、動く。この繰り返し、力になると思います。たくさんチャレンジしてみてください。



←生路小 岡 SP

大学2年生のSPさんで、この日が初めての活動でした。1年生のクラスに入っていましたが、さっそく子どもたちに「一緒に鬼ごっこしよう！」「これ見てみて！」「先生、これやってもいいよ！」と囲まれていました。子どもたち一人一人の顔を見ながら、笑顔で返答してくれる岡SP。これから生路小の子どもたちから引っ張りだこになるのではないかと思います。



↑片葩小 水谷 SP

大学2年生のSPさんで、なんと、週2回活動しています。9月から活動スタートした水谷SPですが、すでに先生たちとコミュニケーションを取りながら活動していました。(この日は、カメラ撮影も頼まれていました。)見に行った時、偶然3年生の子どもたちが教室から外へと子どもたちが移動しようとしているところでした。子どもたちが並んでいるのを見て、水谷SPは踵を返して去っていきました。「あれ？水谷SP、どこに行くんだらう？」と思っていたら、廊下に立っていました。それも絶妙な場所に。その場所は、立っただけで子どもたちが列を崩さずにいける場所、子どもたちがつつい話し出してしまうような場所です。こんな支援が2年生からできるとは……すごいです。この日は七輪の体験活動のために外に移動していたようです。子どもたちが楽しみにしている活動、その“楽しみ”な気持ちをこうしたさりげない支援で支えてくれています。

教室で勉強するのではなくこうした体験的な活動をする時、先生はいろいろなことを想定し、配慮し、指導していかなければならないかと思います。その時、その瞬間に、その子に合った指導・支援をすることは、やはり経験がものをいう部分ではないかと思います。この日、水谷SPは2人の先生の授業(内容は同じ七輪体験)を見ることができました。これ、とっても勉強になりますよね。いろいろな発見があったことと思います。同じ内容の授業でも、先生方のちょっとした指導・声かけ一つで子どもたちの反応が大きく変わります。SP活動では、みなさんが経験を積むこともできますし、他の先生方の指導をじっくり見て、「自分だったらどうしようか」と考えることもできます。水谷SP、とっても良い経験、学びを得ることができたのではないのでしょうか。



4年生のSPさんに会った時、よくする話があります。それは、「残り半年、ぜひ大学生の時にしかできないことをたくさんしてね。」ということです。友達と遊ぶこと、さまざまな分野の人・場所と出会うこと、旅行(特に海外)に行くことなど、どんなことでも良いと思います。その一つ一つの経験が、4月からの教員生活(社会人生活)で武器になります。「やりたい!」と思った時にすぐに動けるこの時期は貴重です。ぜひいろいろな所に出かけて、大学生の時に感じたことを大切にしてもらえたらと思います。SP活動を通して教師の仕事について知ったり、児童理解を深めたりすることも大きな糧になると思いますが、「やりたい」「やってみたい」気持ちに従って動いてみることも同じくらい意味のあることだと思います。やりたいことにチャレンジして、“ワクワク”・“キラキラ”と楽しんでいる大人の姿を、子どもたちに見せてもらえたらと思います。残り半年、目一杯大学生活を満喫してくださいね!